

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

令和2年8月1日の推計人口 1,312,533人  
世帯数 561,459世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

### 1 推計人口

令和2年8月1日現在の推計人口は、1,312,533人で、前月(1,313,322)に比べ789人の減少となった。

市部では大村市(59)の1市で増加し、長崎市(△325)、佐世保市(△175)、対馬市(△63)、雲仙市(△45)、島原市(△40)、五島市(△36)、西海市(△33)、平戸市(△23)、壱岐市(△18)、松浦市(△11)、諫早市(△8)、南島原市(△4)の12市で減少した。

郡部では、佐々町(11)、小値賀町(4)の2町で増加し、川棚町(△21)、新上五島町(△21)、時津町(△18)、長与町(△14)、東彼杵町(△7)、波佐見町(△1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数799人、死亡数1,370人で571人の減少、社会動態は、転入者数2,844人(県内転入を含む)、転出者3,062人(県内転出を含む)で、218人の減少となった。

### 2 世帯数

令和2年8月1日現在の世帯数は、561,459世帯で前月(561,451)に比べ8世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳  
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…6月

1人当たり現金給与総額 464,069円  
対前月比 73.5%増加  
対前年同月比 1.4%増加

### 1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は464,069円で、前月に比べ73.5%増加し、前年同月に比べ1.4%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は258,135円で、前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ3.9%増加した。

特別給与額は205,934円で、前年同月に比べ、3,131円減少した。

### 2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.3時間で、前月に比べ9.8%増加し、前年同月に比べ0.7%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は141.2時間で前月に比べ10.6%増加し、前年同月に比べ0.3%減少した。

所定外労働時間数は10.1時間で、前月と同値であり、前年同月に比べ6.5%減少した。

### 3 雇用

6月の常用労働者数は208,956人で、前月に比べ0.5%増加し、前年同月に比べ8.0%減少した。

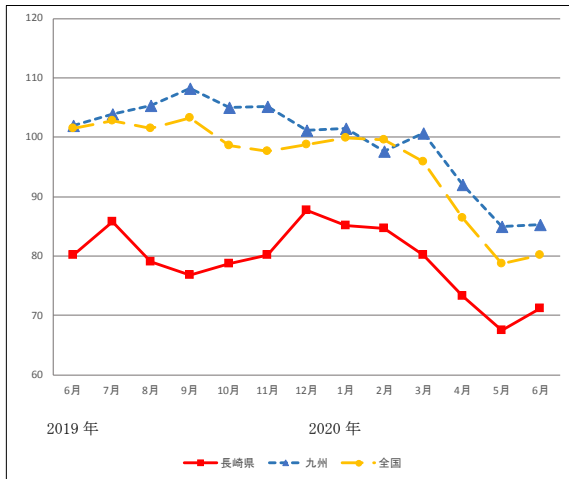
【鉱工業生産指数】……………6月

令和2年6月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	71.1	5.3	72.2	△7.1
九州	85.2	0.9	87.4	△14.0
全国	80.2	1.9	82.9	△18.2

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



令和2年6月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が71.1で対前月比は5.3%の増、原指数は72.2で対前年同月比は7.1%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、食料品工業、輸送機械工業など7業種が上昇し、繊維工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業など6業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	130.9	△21.9	交流電動機
食料品工業	25.1	△3.7	その他の調味料
輸送機械工業	14.7	△19.1	新造船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	△44.1	△68.6	織物製外衣
電子部品・デバイス工業	△9.9	△10.0	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	△0.7	2.2	護岸用コンクリートブロック

(注) 前月比は季節調整指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………7月

総合指数(H27=100) 103.6

対前月比(%) △0.1

対前年同月比(%) +0.4

令和2年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.6である。

前月比△0.1%の下落で、主な上昇要因は「交通・通信の+1.3%、「教養娯楽」+0.7%であり、主な下落要因は「食料」の△0.5%、「被服及び履物」の△3.1%である。

前年同月比は、令和2年3月は+1.1%、4月は+1.2%、5月は+1.1%、6月は+0.9%と推移した後、7月は+0.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.6であり、前月比は△0.1%であり、前年同月比は+0.2%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

交通・通信	1.3%
教養娯楽	0.7%
住居	0.1%
諸雑費	0.1%

▽同水準の費目

教育	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

光熱・水道	△0.1%
保健医療	△0.4%
家具・家事用品	△2.0%
被服及び履物	△3.1%
食料	△0.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……7月

消費支出(一世帯当たり) 236,675円

前月比 3,486円減(1.5%減)

令和2年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は236,675円で、前月比1.5%の減、前年同月比は21.7%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は56.7%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。